

目 議会だより

しろたか

…議会の録画中継を配信中！
町のホームページから…

2018年10月15日発行
(平成30年)

Vol.140

山形県白鷹町議会

9月定例会

「白鷹パワー、全開！」

白鷹中学校 サッカー部 15頁に関連記事

- だれもが住みたくなるまちに向けて・・・ ②p
- 有効利用を審査しました 29年度決算審査・・・ ④p
- 被災の予防に対応 補正予算審議・・・ ⑩p
- ここが聞きたい 一般質問・議員が町政を問う・・・ ⑫p
- 追跡あの事業は今 町民の声にどう応えるのか・・・ ⑱p
- インタビュー いきいき元気アドバイス！・・・ ⑳p

なるまちに向けて

移住・定住者の増加を目指して 若者の町内定住に重点を



若者が集まる四季の郷

申請件数多く、増額補正

10頁に関連記事

◆すまいる住まい！若者定住サポート事業・・・880万円増額補正
定住の意思があり、住宅の新築等を行う若者世帯や町外からの移住世帯に対し補助するもの。

申請状況は

当局

今年度、すでに18件の交付決定をしている。そのうち町外からの転入は4件である。さらに町内外から9件ほどの相談をうけている状況である。

◆移住定住支援交付金・・・210万円増額補正
町外から転入する若者世帯を支援するため、交付金を交付するもの。



移住者が安心して暮らせるための、受け入れ体制のさらなる充実を。

9月 定例会

定例会は9月4日から13日までの10日間で開催され、
●町道路線の認定2件 ●字区域の変更1件 について審議し、原案のとおり可決しました。
一般質問は3議員が行い、町政全般について問いました。
●平成29年度決算 ●平成30年度補正予算 ●人事案件4件

だれもが住みたく

高齢者支援の充実へ ― 個室対応 ―

いよいよ始まる新老人福祉施設建設



完成予想図

16頁に関連記事

施設の概要

- ◆延床面積 約7,459㎡
- ◆特養長期 120人
※現施設から入所定員は10人増となる。
- ◆特養短期 20人

※地域交流棟は、有事の際、地域の方の一時的な避難所として活用可能。

町からの支援

平成30年度の町から法人への補助金（平成30年度予算）

4億2646万7000円

- ◆補助金の財源：国からの補助金 1億3546万7000円
過疎対策事業債 2億9100万円

社会福祉法人白鷹福祉会が旧西中学校跡地に整備する老人福祉施設の建設工事について、8月2日に入札が執行され、理事会の議決を経て8月3日に契約締結された。8月27日には、現地で起工式が行われた。

- ◆契約名 新特養建設工事請負契約
- ◆契約金額 24億9480万円
- ◆契約の相手方 那須・丸ト特定建設工事共同企業体

審査しました

どのような成果が・・・

各会計決算の議決状況

会 計 項 目			歳入（収入）	歳出（支出）	議決 状況
一 般 会 計			96億7852万円	88億2281万円	全員賛成により認定
特別会計	十 王 財 産 区		413万円	19万円	
	下 水 道		5億344万円	4億4650万円	
	国民健康保険		19億3820万円	18億3686万円	
	農業集落排水		1億3688万円	1億3007万円	
	介 護 保 険		16億1367万円	15億8128万円	
	後期高齢者医療		1億4588万円	1億4450万円	
事業会計	水 道	収益的	3億615万円	2億5994万円	
		資本的	1388万円	1億2930万円	
	病 院	収益的	10億8252万円	11億3554万円	
		資本的	378万円	1億3877万円	
	訪問看護 ステーション	収益的	3009万円	3127万円	
		資本的	0円	86万円	
合 計			154億5714万円	146億5789万円	

（万円未満は端数を調整しています。）

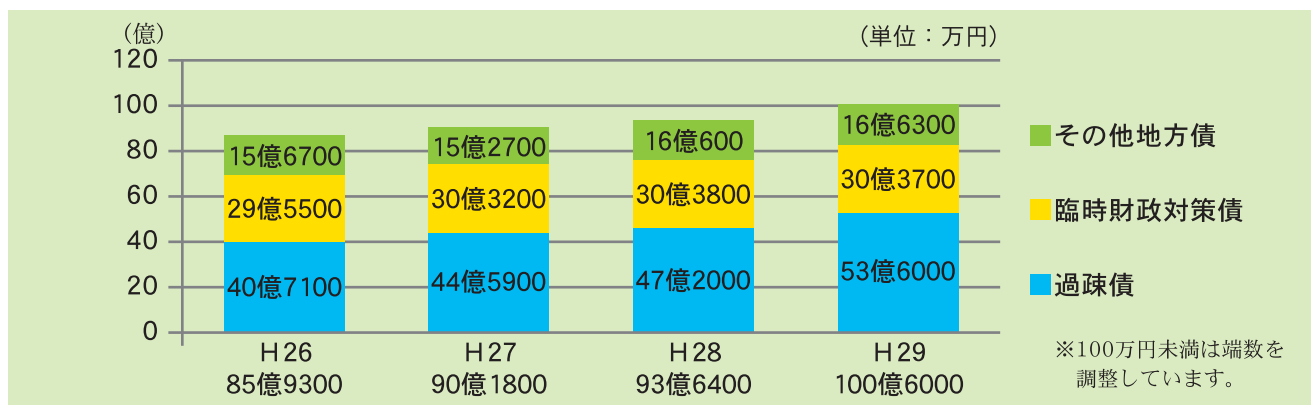
※「収益的」は事業に係る収入と支出。「資本的」は施設・設備に係る収入と支出。

9月は決算議会

議会が決定した予算が適正に執行されたかを審査するとともに、その行政効果や経済効果を精査し、住民に代わって評価します。審査の結果は、後年度の予算編成や行政執行に生かされます。

借金(地方債)の残高の状況は

●地方債とは、町の長期借入金です。



■その他地方債

災害復旧事業債や教育福祉施設整備事業債など。

■臨時財政対策債とは

国の財源不足を補うための地方の借り入れ。

返済額すべてが普通交付税として入る。

■過疎債とは

過疎地域にあたる市町村限定で、発行が認められる借り入れ。

返済額の7割が普通交付税として入るが、3割は町負担。

平成29年度決算

有効利用を



これからが勝負

29年度に行った主な事業 (万円未満は端数を調整しています。)

・まちづくり複合施設整備事業	7億4688万円	・ヤナ公園整備事業	1億 648万円
・日本の紅（あか）をつくる町推進拠点施設整備事業	2億8542万円	・除雪委託料	2億5647万円
・こども園支援事業	2億1709万円	・橋梁安全対策事業	5079万円
・園芸大規模団地整備支援事業	2779万円	・鮎貝小学校駐車場整備事業	5354万円

わが町の 財政力

区分・年度	平成29年度	平成28年度	説 明
財 政 力 指 数	0.283%	0.277%	高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。
経 営 収 支 比 率	89.4%	87.4%	低いほど独自の政策のために使えるお金が多い。
実 質 公 債 費 比 率	7.5%	7.6%	収入に対する負債返済の割合。

賛成討論

結果重視の
財政運営を

小口 尚司 議員

自主財源比率が低く、地方交付税や地方債などの依存財源割合が高い脆弱な財政状況が続いている。

今後も有利な財源を確保し厳しい財政を支えていく必要がある。

子育て世代の負担軽減、森林・林業再生に向けた新規事業、需要の多い若者定住サポート事業などは一定の評価をする。

国の政策は「地方創生」への重点化が強まっている。制度の多様化・複雑化に対応し、総合戦略などにより取り組みを充実・強化させ、独自性・独創性による町の活性化に結び付けなければならない。より一層効果的かつ効果的で結果重視の財政運営に努めるよう望む。

監査意見書

町民福祉の向上に一層の努力を

平成29年度の財政状況は、実質収支が6億円を超え、経常収支比率は前年度より2・0ポイント上昇し89・4%となったが硬直化した状況は続いている。財政力指数は0・283と低い。0・006ポイント改善した。

今後もこれらの指標の推移を注視しながら健全な財政運営に努めて頂きたい。

町税は個人所得税や固定資産税などの増加で1・3%増加した。滞納繰越分の収納率も向上した。

主な事業は、子育て支援、移住・定住対策、日本の紅をつくる町推進事業、地区コミュニティ事業など実効性ある事業が展開されたことを評価する。

厳しい財政状況が予測されるが事務事業の評価と検証を行いながら、より効果的な事業の展開を期待する。

代表監査委員 竹田謙一
監査委員 山田 仁

決算特別委員会

質疑

歳入 (町の収入)

ソフト小村の状況は

菅原委員

ソフト小村の現在の使用状況は。

商工観光課長

ソフト小村は6棟あるが、現在、5社が入っており、1棟が空いている。全体で22人が雇用されている。

利用頻度を高める方法は

菅原委員

情報関連の仕事

という制約を、若干緩和もしてきたようだが、現在は満室ではない。6次産業化など様々な形で利用できる方法、利用頻度を高めていく考えは。

商工観光課長

情報産業という基本はあるが、地産地消や研究開発、地域産業の推進という視点も追加してきた。6次産業化の拠点等についても、前向きに検討したい。

過疎債返済の影響は

奥山委員

過疎対策債の発行残高が合計で53億円となっている。返済による町民サービスへの影響は。

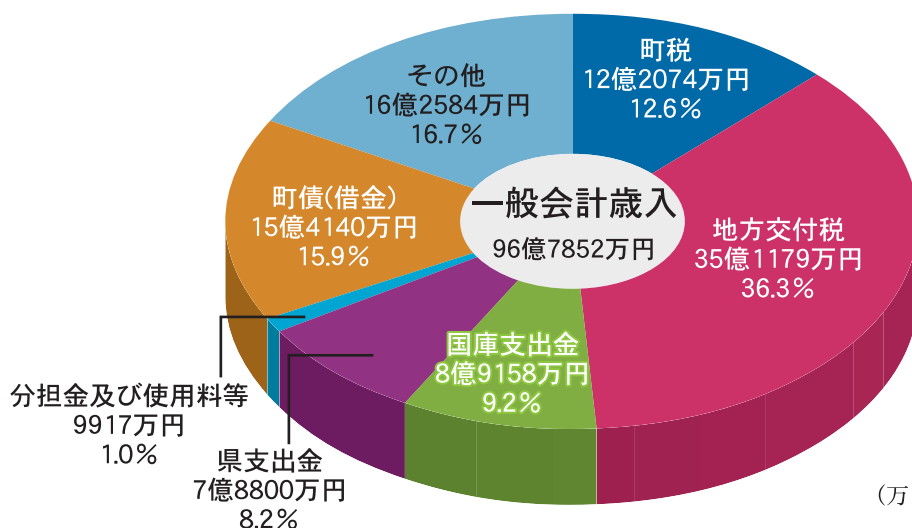
総務課長

借金返済が多額になると、他事業への影響が懸念される状況になることもあるかと思う。



過疎対策事業債利用の、複合施設

減債基金等を活用しながら対応していく時期も来るものと予測している。将来負担をどのように賄っていくかも踏まえ、起債も利用しながら対応していく。



(万円未満は端数調整しています)



なないろの会

質疑

歳出

（町の支出）

総務費

荒砥高校支援の実績は

笹原委員

福祉資
格取得支

援の実績は。

企画政策課長

資格取得者は荒砥高
校生が2人、専修学校
生が1人、一般の方が
4人。

参考…荒砥高校生は町内の介
護福祉施設に1人、町外の介
護福祉施設に1人が就職。

民生費

福祉型小さな拠点づく
り事業の実績と課題は

奥山委員

1団体
は活動を

始めたが、利用状況は
利用者の足が課題のよ
うだが、対応は。

健康福祉課長

鮎貝地区で活動して
おり、28年度は週2回
開催で、延べ約370
人の利用があった。利
用者の足の確保につい
ては、福祉的な視点で
の支援などもあるよう
であり、こちらの研修
等に参加いただくこと
も考えられる。

障がい児への対応は

奥山委員

障がい
児の判断

は難しい部分がある。
今後の障がい児の状況
をどのように把握して
いるか。

健康福祉課長

障がいの判断は、手
帳の保有という捉え方
になるかと思うが、保
有していないともサー
ビスは利用できる。小
さいうちから診断がつ
くようになってきてお
り、適切な支援ができ
るよう考えていく。

副町長

問題など関
心も高い状況である。
障がいのある方々がラ
イフステージをしつか
り進んでいけるよう、
適切に対応していく。

免許返納者は

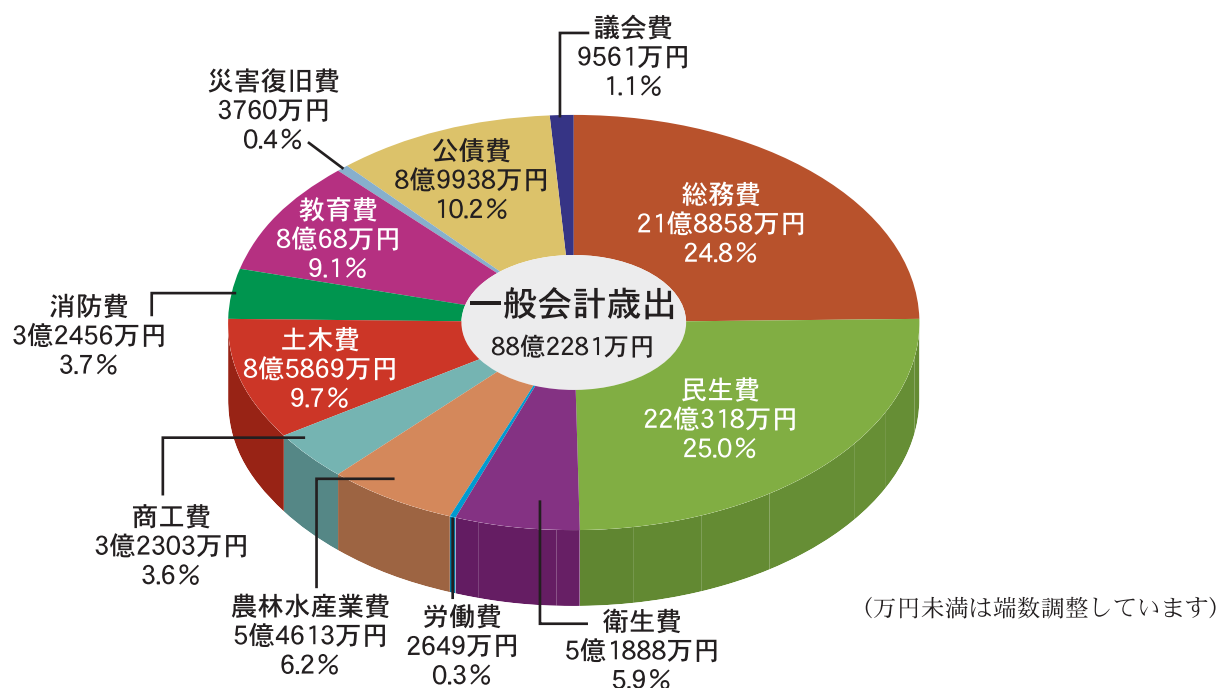
笹原委員

高齢者
の運転免

許自主返納支援事業の
実績は。

健康福祉課長

この事業は認知症高
齢者に対する支援で、
29年度は10人で横ばい。
一方で自主返納者は
29年度64人で、年々増
えている。



歳 出 (町の支出)

質 疑



あゆを待つ子どもたち

農林水産業費

農地集積の課題は

田中委員

貸し手
と借り手

が合わなければ成立しない。農地集積の課題は。

農林課長

町内の割
合は、蚕桑地区が79・

8%と突出しており、進んでいない地域もある。特に中山間地域では、貸し手と借り手のマッチングが今後の課題になって来ると捉えている。

商工費

アユの稚魚放流の
状況は

奥山委員

川魚放
流事業は

毎回同じような予算の
執行だが、状況は。

商工観光課長

およそ4万6000匹の稚魚を放流している。ヤナ場の漁獲量は29年度は5511匹、28年度は5600匹、27年度は5100匹と横ばいである。20年度は2万8000匹であった。

あずま屋整備の内容は

奥山委員

ゴルフ場
パーク

のあずまや整備委託は、
どのような施策だった
のか。

商工観光課長

あずま屋の木工事部分を、山形工科短期大学の学生の夏休みの課題として先生にお願いし、委託した。

買い物支援、今後の
ありかたは

佐々木委員

実証
実験の

状況をふまえ、買い物
困難への、今後の支援
のありかたは。

町長

楽しみなが
ら目で確かめ

て買い物をしたいという
方が多い。地域に商
店を必要であり、そこ
を中心とした出張サー
ビスのようなものもで
きないかなど、多角的
に検討を進めている。

ニーズは多岐に

笹原委員

建築需
要促進事

業補助金の実績は。工
事内容は多岐にわたっ
ているが、今後の考え
方は。

商工観光課長

件数は住宅130件、
店舗1件、附属建物15
件。事業に携わった所
が27事業所。
今後は、町産材を使
ってもらえるような事
業にしていこう。

土木費

雪押し場の確保は

佐々木委員

沿道に雪押し場が減
少し、除雪時間の遅れ
とともに経費にも影響
するようだが、排雪場
所の確保は。

建設水道課長

大きな課題であり、
地域からの協力を得る
以外にないのが実状。
地区や業者と連携を密
にし、町報等での広報
活動を行いながら確保
していきたい。

消防費

団員用備品の整備を

渡部委員

団員用
備品の支

出の内容は。

総務課長

はつぴ
と活動服
を補充した。



渡部委員

ヘルメ
ットと長

靴が傷んでいるようで
あり、活動服も損耗が
進んでいるようである。
更新の予定は。

総務課長

ヘルメ
ット等に

ついては、今回の補正
予算で更新を行う。活
動服は配備してから13
年を経過し、損耗も激
しくなっている。消防
団員の服制基準も改正
されており、早期の対
応を検討していく。

教育費

不登校への対応は

奥山委員

教育相談員の活動実績は。不登校児童生徒等への対応策は。

教育次長

不登校や別室登校に対応するため教育相談員を配置し、相談や学習指導、生活指導を行った。元教員2人をお願いしている。

教育長

不登校や別室登校が多いことが本町の大きな課題である。傾向として、小学校のうちから欠席が目立つ生徒が多いため、初期指導の重要性を確認しあった。寄り添った関わり方を根気強く温かくしている。



十分な安全対策を

スクールバス停留所

笹原委員

スクールバス停留所の安全対策は。

教育次長

点検を実施し、危険箇所には対策をとっている。今後も学校・PTAと連携をとっていく。

スポーツクラブ支援

笹原委員

総合型スポーツクラブRO*KUの入会状況と財源、体育協会などとの連携は。

教育次長

29年度は113人の入会。当初見込みより少ない。事業費全体に占める町の支出が増え自主財源での運営が厳しくなっている。今後は町所管のスポーツ団体など、全体での見直しを始めた。



国保特別会計

保険者努力支援制度の推進は

奥山委員

保険者努力支援制度の29年度の交付金の状況は。課題に対する今後の対応は。

町民課長

29年度の交付額は321万6000円であり、28年度と比較では106万7000円、49・7%の増加となった。地域包括ケア推進の取組状況が弱かったため、健康福祉課と連携しながら検討していく。

介護保険特別会計

地域支援事業の状況は

奥山委員

通所型サービスAなど、地域支援事業の実績と取り組みの考え方は。

健康福祉課長

実績としては、八乙女げんき塾は延べ約3500人、元気わくわく事業については延べ約3200人に参加いただいた。要支援も含めた形での重度化防止や元気な高齢者に対する介護予防、健康づくりの活動に取り組んできた。

病院事業会計

経営改善計画の状況は

奥山委員

29年度から5年間の経営改善計画をつくったが、状況は。

病院事務局長

経費の削減や業務の効率化については、わずかではあったが効果があつたと考えている。当病院は、院長をはじめとして勤務歴が長く、他の自治体病院に比べ恵まれている。町民からの協力により勤務しやすい環境であり、医師を信頼していただいているというありがたい環境である。



リハビリ中（町立病院）

補正
予算

被災の予防に対応

質疑

質疑 町道維持補修の内容は委員 坂下平田中山線の維持補修工事の内容は。 当局 集中的に雨水が集まる場所があり、いずれ道路にも影響が出るような状況。早急な対応が必要であり、雨水の処理を行うため、水路等を敷設するもの。

委員 同様の場所は多いと思うが、随時対応していく考えか。 当局 状況により地域との協議が必要な所もあるが、出来るところは早急に対応していきたい。

委員 移住・定住支援の内容は 委員 移住・定住支援交付金の内容は、交付される金額は。

当局 町外から転入する若者世帯に対する支援。申請時に夫婦のどちらか一方が45歳未満であることなどの要件がある。 基本額10万円を交付するほか、中学生以下の子ども2人までは、10万円を交付。3人目からは、1人につき5万円を交付。



早急な道路の維持補修工事により、安全な対策を。



法面崩壊の坂下平田中山線

一般会計補正の主なもの

町道維持補修費 2115万円
一本松線、坂下平田中山線等の維持補修工事等の追加計上。

移住定住支援交付金 210万円
事業実績見込み等による追加計上。

すまいる住まい！若者定住サポート事業 880万円
事業実績見込み等による追加計上。

放課後児童健全育成事業 732万円
放課後児童クラブの児童数やクラブ数の増加等による事業費の調整。

日本の紅(あか)をつくる町推進事業費補助金 50万円
「藍と紅」の交流、コラボレーション商品開発プロジェクト経費。

除雪車整備事業 239万円
県の払い下げを受け、除雪ドーザーを購入。

小中学校冷房設備調査委託料 100万円
整備規模や概算事業費の把握のための調査。

道路河川災害復旧事業費 550万円
過年度の豪雨被害を受けた唐松沢の復旧。

病院費（経営基盤強化費） 5000万円
病院事業会計の経営状況等を勘案した繰出しの対応。（累計2億5000万円）

など

◎ 財源は国、県支出金、繰越金などで対応します。

平成30年度補正予算総括表		
会計項目		補正額
一般会計		1億6999万円
特別会計	下水道	200万円
	国民健康保険	2927万円
	介護保険	3060万円
事業会計	水道	資本的支出 97万円
	病院	収益的支出 81万円
		資本的支出 444万円

※万円未満は端数を調整しています。

請 願

●大字浅立地内の町道路線の認定と道路整備について

採 択

請願者 浅立区長 高橋弘夫 (※)
南部4町内長 梅津 勝

(※) この請願は、平成30年3月に提出されたため、前区長・前町内長名となっています。

●種子法廃止に伴う万全の対策を求める請願

不採択

請願者 置賜農民連会長 小林茂樹
白鷹町農民連会長 川部忠弥

不採択の主な理由：県に条例を制定してもらうことが大事。種子生産組合からの要請により、県に条例に関して要請していくとのこと。種子法は廃止されており国にまで意見書を出す必要はない。

賛成討論

種子法廃止に伴う対策で、県が種子の管理ができる条例をつくることは当然だと思う。種子を守り、日本の農業が進展できるよう、国に提案する請願に賛成する。

人 事

次の人事案件に同意しました。

●白鷹町教育委員会委員の任命

前任者の任期満了（9月30日）に伴い、新たに児玉裕継氏（高玉）を任命すること。

●白鷹町固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了（9月25日）に伴い、引き続き船山義彦氏（畔藤）を選任すること。

●人権擁護委員候補者の推薦

任期満了（12月31日）に伴い、引き続き嶋林淳子氏（荒砥）を推薦すること。
欠員に伴う後任者として菅文隆氏（山口）を推薦すること。

町道認定・廃止

●佐野原堂ノ前線の認定・廃止

区 分	起 点	終 点
認 定	佐野原字堂ノ前599-2	佐野原字堂ノ前602-4
廃 止	佐野原字堂ノ前613	佐野原字堂ノ前613

●東動免喜線の認定・廃止

区 分	起 点	終 点
認 定	十王字動免喜643-1	十王字動免喜668-7
廃 止	十王字動免喜643-1	十王字動免喜642-1



東動免喜線

7月24日 第4回臨時議会

契 約

●平成30年度鮎貝第一污水幹線更新工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札

契約金額 8964万円

契約の相手方 株式会社鈴木工務店 代表取締役 鈴木重治

条 例

●白鷹町医療給付事業に関する条例の一部を改正する条例

災害時の情報提供、どう進める

町長 屋外拡声器、緊急メールのほか、人的伝達の協力も得ながら

警鐘台の状況は

問 警鐘台が老朽化し、半鐘での災害伝達が困難なところもある。警鐘台の状況は。

町長 45台の警鐘台があるが、老朽化による倒壊の危険性があるものから順次撤去する。半鐘の移動は、可能な限り地元で対応していただきたい。低い位置への再設置に必要な資材については、町で準備する。



議員 渡部善美

災害現場の状況を伝えるには

問 自主防災組織は全域に組織されているが、現場の状況をどのように伝達すればよいか。

町長 気象警報が発表された場合、早朝、深夜、祝祭日を問わず職員が配備される。役場庁舎には職員が駐在するため、直接もしくは自主防災組織を通して、電話で現場の状況を伝えていただきたい。

ハザードマップの説明は

問 ハザードマップの町民への説明の状況は。

総務課長 国土交通省や県の職員を講師に、荒砥地区、蚕桑地区、東根地区で説明会を開催した。

問 各区単位での説明会に対応可能か。

総務課長 国土交通省や県との調整は必要だが、各区単位の説明会も可能かと思う。自主防災組織の研修等を取り組んでいただきたい。

どうする町民への情報提供

問 災害はいつ発生してもおかしくない。町民への情報提供をどのように進めるのか。

町長 屋外拡声器による音声が届きにくい状況もあるため、6月から、緊急メール



声がこもる・・・



高齢者への確実なる情報提供を

配信にも取り組んでいる。携帯電話等がない方は、町災害情報テレホンサービスに電話し情報を得ていただきたい。

問 高齢者単身世帯への情報提供は大きな課題である。対応は。

総務課長 自主防災組織や民生児童委員に協力いただき、要配慮者の確認や情報の伝達等をお願いしたいと考えている。

ため池の安全対策は

問 西日本豪雨をうけ、全国一斉にため池点検が実施された。今後の安全対策は。

町長 一斉点検に該当する5つのため池を点検した結果、当面の安全性に問題はなかった。その中で、御影沼は改修に向けて調査している。独自の中丸ため池は廃止に向けて調査している。独自の点検も行いながら、安全確保に努めていく。

西廻り幹線道路、長井市との連携強化を

町長 同盟会組織を一本化し、要望していきたい

◆地域コミュニティ◆

コミセン化の効果は

問 子どもが地域に残りたいと思う心を育てるのは地域の役割。コミセン化による、地域の活性化への効果は。

町長

地域活動が活発化している。地域の中で人のつながりが生まれ、地区の実情や目標などの意識が共有化されることが重要で、効果の一つと考える。

子どもの参加は

問 各地区での、子どもの参加を対象とした事業は。



佐々木誠司議員

企画政策課長

郷土料理教室や学習塾、盆踊りなど様々。子どもたちにとって地域に居場所や役割があると感じることは、社会力の向上や郷土愛の醸成につながると、とらえている。

交付金の活用は

問 地域づくり推進交付金の活用状況は。

企画政策課長

道路や水路、公園などの整備事業、地域イベント関連事業、田植踊りや獅子舞の保存などの伝統文化伝承事業など、現在6地区で15件の事業申請がある。

◆西廻り幹線道路◆

さらなる要望活動の活発化は

問 早期実現に向けて、さらに要望活動を活発化させるための、今後の取り組みは。

町長

長井市が、市長を会長とした市内全域の同盟会組織に再編された。できるだけ早い時期に長井市と白鷹町の同盟会組織を一本化し、一体となつて要望していきたい。



元気に応援！子どもたちの応援団
(東根地区レク大会)

同盟会の拡大は

問 農林、商工、観光など、様々な分野の企業や団体などへの同盟会組織の拡大は。

建設水道課長

長井市との協議を進める上で、関係する団体の参加もお願いしながら、体制を作って行く必要があると考えている。

町長が中心核に

問

民間主導での同盟会組織には、要望活動の拡大に限界があると感じる。町長が組織の中心核となつて町全体を盛り上げていただきたいが、町長の考えは。

町長

地域の盛り上がりの方が大事というところで地域からスタートし、歩みを進めて町全体の取り組みにしてきた。

長井市でも市長が中心となつて進めることになり、まちづくりの中の大事な部分であるので、話ができれば喜んで受けたい。



長井市との連携で、要望活動のさらなる活性化を。

教室にクーラーの設置を

町長 冷房設備整備に向けた調査を実施する

ひとり暮らし高齢者への支援は

問

ひとり暮らし高齢者は、冬場が最も大変である。外出するにも玄関先まで雪がある。具合が悪く電話も取れなくなればなおさらである。対応は。

町長

課税の状況等、高齢者世帯に対する除雪支援を実施している。29年度は91世帯に支援した。

また、緊急時に簡単な操作で通報できる機器の設置もしている。設置には課税の状況等の条件がある。条件に該当しない場合は、民



石川重二議員

地域の支え合いを

問

町内の方々に声をかけて支援を。

町長

高齢化が進む中、地域での支え合いは重要である。地域でできる支援の形を検討いただき、その実現に向け町が支援する形で地域の支え合い体制を作っていただければと考える。

みんなで協力して除雪を

問

道幅や住宅の出入り口を確保するため、住民の協力による地域の除雪体制の整備を進めるべきでは。

町長

基本的に町道除雪は町が業者に委託して行うが、狭いところなど地域から協力いただければ大変ありがたい。

協力いただける仕組みについて、どのような手法が効果的か、また、町がどのように支援できるか、検討していく。

学校冷房設備の改善を

問

今後も猛暑が続くことを想定し、学校の冷房設備の改善をすべき。

町長

政府は、全国の公立小学校に冷房を設置するための予算措置をする方針であると聞いている。町では、まずは小・中学校の冷房設備整備に向けた基本調査を実施する。

問

教室数はどのくらいか。

教育次長

現在、空調設備は、各小・中学校の特別教室計8室に設置されている。

今後、基本調査により整備規模、概算事業費を把握し、財源等も含め検討を進めていく。



あついなあ・・・



子どもたちの教育環境を一番に

議員管外研修

交通インフラの重要性を再認識

平成30年7月19日～20日：北海道（七飯町）・（森町）「移住定住対策」「地域ブランド」

七飯町

七飯町は、函館市のベッドタウンとして発展してきた。国勢調査では2015年に初めて人口が減少に転じたが、社会増減では転入が転出を200人程度上回っている。北海道新幹線の関連会社の進出により新たな雇用の場が創出されたことや、子育て環境や住環境の充実、移住者への優遇措置、自然環境の豊かさなどが要因と思われる。



森町

森町は、古くから大手の水産物加工業の工場などがあり、雇用が安定している。いかめし発祥の町であるが、町の知名度は意外と低く、統一したロゴマークを活用し、知名度を上げる取り組みを行っている。「日本の紅（あか）をつくる町」を推進する当町にも参考になるものである。



（ロゴマーク）

まとめ

北海道新幹線の開通による交通条件、利便性の変化の影響を大きく受けているようであり、移住定住の推進にあたっては、交通インフラの重要性を感じた。東北中央道が開通されたが、本町も陸の孤島とならないよう、有効な施策展開が必要である。

議会広報特別委員会研修

わかりやすい表現を

平成30年9月28日～29日：福島県浅川町

浅川町議会は、平成29年度全国広報コンクールで奨励賞を受賞した。

読んでもらえるよう、難しい表現は使わず、平易な短い表現にする工夫をしているとのことである。

親しみのもてる広報誌づくりは、今後の参考になった。



議会運営委員会研修

タブレット議会の効果と課題

平成30年8月21日～22日：秋田県（五城目町）・（三種町）

五城目町では、平成28年6月議会からタブレット端末を導入している。招集通知等のペーパーレス化による経費削減の効果はあるが、突発的な対応が難しいなど、検討すべき課題もあると思われた。

子どもの居場所づくり

三種町では、医療関係NPOによる学習支援・引きこもり対策として「子ども・若者総合相談センター」を設置し、子どもの居場所づくりが行われている。今後の参考になった。

当町の施策の検討に役立てていきたい。



また、陸上部からも全国大会出場を成し遂げました。

地元出身者だけで部員を構成する町立の中学校が全国大会に出場するのは、きわめて稀なことです。

「本気で取り組んだからこそが、本物の勝者、本物の社会人になれる」

白鷹。パワー、全開！

白鷹中サッカー部

表紙

総務厚生常任委員会

現白光園の有効活用を

9月6日に委員会が開催され、老人福祉施設整備支援事業等について説明を受けた。

現在の白光園も有効利用する予定

【跡地利用計画の概要】

◆解体撤去する部分

①昭和55年の開設時に建設された「ぬくもり通り棟」は、解体撤去の予定。

◆利用活用する部分

②「管理棟」は一部を改造し、デイサービスセンター及び指定居宅介護支援事業所として活用する予定。

③「ふれあい通り」「ほほえみ通り」「給食室」等は一部を改造し、住宅型有料老人ホーム（50人規模）として活用する予定。

④「白光園デイサービスセンター」の建物

住宅型有料老人ホーム

生活支援等のサービスが付いた高齢者向けの居住施設。訪問介護等の介護サービスの利用も可能。

●近隣の同様の施設（長井市）

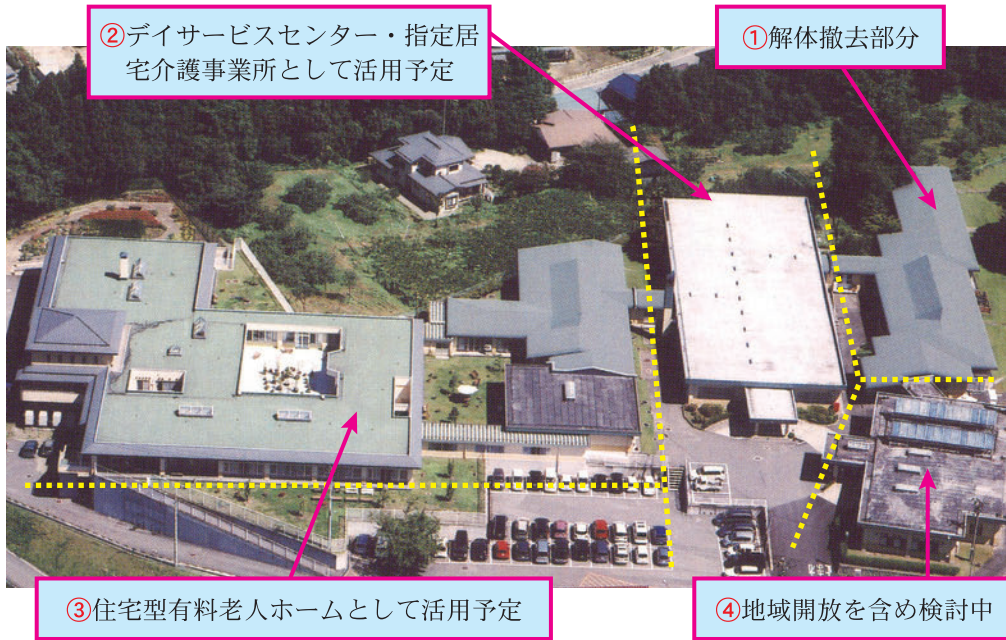
「竹田けあほ一む」「シニアサロン風ぐるま」など

◆工事計画

は、地域開放を含め活用策を検討する。
解体撤去工事及び一部改造工事は、平成32年度に行う予定。

移転後の現白光園の跡地利用予定

※現時点の予定であり、今後、変更になる場合もあります。



利用しやすい施設へ

より多くの町民に説明を
まちづくり座談会の実施状況について説明を受けた。

今年度も6地区で開催

【開催方法】

各地区コミュニティセンターと共催で開催。

【情報交換の内容】

- ・第6次白鷹町総合計画
- ・小中学校へのエアコン導入
- ・空き家の管理及び活用
- ・道路整備 など

【参加者数】

地区名	H30	H29	H28	H27
蚕桑	51	45	61	64
鮎貝	59	43	55	57
荒砥	41	43	50	55
十王	33	43	35	31
鷹山	49	52	50	51
東根	60	45	63	64
計	293	271	314	322

各年代別参加者の増加と話しやすい雰囲気を

その他

○荒砥高校をサポートする会の検討状況

○小水力発電導入可能性調査について説明があった。

安心につながる除雪体制を

9月7日に委員会が開催され、平成30年度除雪計画見直しの方
向性等について説明を受けた。

地域の協力が大事

【アンケートから】

各区長、除雪業者に
アンケートを実施。地
区からは、登校・出勤
時までの除雪終了の要
望が多かった。

【計画見直しの方向性】

- ◆時間内の除雪終了へ
- ①除雪路線の見直し
空き家も増加してい
る。地区の意向をふ
まえ、除雪路線の削
減等を行う。
- ②業者の新規参入や除
雪車増車の検討
新規参入意欲のある
業者も含めた除雪体
制を検討し、除雪車
の増車に努める。
- ③除雪延長の見直し
1台あたりの除雪延
長を見直し、適正化
をはかる。
- ④公共施設等の除雪の
見直し
施設が優先され、道
路除雪が遅れる問題
について、関係各課
と協議、検討する。
- ⑤ロータリー除雪車の
積極的な活用
ロータリー除雪車に
よる除雪路線の設定
を検討する。
- ⑥雪押し場の確保
町、各区、業者の連
携を強化するととも
に、町報等による広
報活動を強化する。

【間口除雪のあり方】

地域協力やボランテ
ィア活用の先進事例
の調査等も含め、長
期的視点で検討する。



ロータリー除雪



降雪時間による
除雪終了時間へ
の理解を

民営化後の給食は

学校給食共同調理場の運営状況について現地を調査し、説明を
受けた。

安全な給食を提供

【給食の概要】

◆対象者

小学校（4校）
児童660人
職員73人
中学校（1校）
生徒334人
職員34人
共同調理場
職員17人

合 計1118人

◆給食費（保護者負担分）

小学校 262円
中学校 304円

◆給食の内容

完全給食 週5日
主食の割合
米飯 週4日
パン 週1日
食育の充実
・バイキング給食、
セレクト給食等の
提供

・調理場だより等の
配布による食育の
推進

地産地消の推進
・町内産米を使った
米飯食の提供
・町内の農産物生産
販売者との食材提
供打合せの開催



栄養満点おいしい給食



調理場にクーラーを設置

質 疑

アレルギー対策は

委員 アレルギーが問
題になっているが、対
策は。

当局 アレルギー対策
が必要な方については、
学校を通して申請して
いただく。除去食と代
替え食の提供を行って
いる。



突発的なアレルギー
の対応を確実に

その他
○町道路線の認定及び廃止につ
いて説明があった。

白鷹町にするために！

う応えるのか

●十王地区 要望件数：21 件（H26～H30 年度）

要 望 項 目	要望年度	回 答	担当課
上野六差路解消工事 の早期着工	26 27 30	危険性は理解している。地元と調整の上、 土地利用や車・歩行者の交通量と安全性 などを踏まえ計画的に検討する。	建設 水道課
十王1町内「つたの 沢」地内の側溝整備	28 29 30	現地確認に基づき、危険度・優先度を考 慮しながら数ヵ年単位で対応を検討する。	建設 水道課



安全確認が大変な六差路

●鷹山地区 要望件数：14 件（H26～H30 年度）

要 望 項 目	要望年度	回 答	担当課
町道滝野萩野線、 掘割の拡幅及び国道 348号バス停までの 歩道設置	28 29 30	掘割部分の重要性は認識している。 危険度・優先度・実現可能性を考慮し、 県と協議を行い検討していく。 歩道設置も県に要望する。	建設 水道課



斜面に挟まれた国道の入口

●東根地区 要望件数：29 件（H26～H30 年度）

要 望 項 目	要望年度	回 答	担当課
旧国道 287 号（町 下～浅立）の冬期間 の交通確保と消雪道 路の改修と維持	26 27 28 29 30	27年度より、新たな井戸を設置したり錆 などの除去によって長寿命化をはかって いる。今後水量が低下する所は機械除雪 と併用して対応。	建設 水道課
林道災害の復旧	29 30	林道滝ノ入線、須野線は被害が大きい事 や現場の状況から復旧には多額の費用を 要する為、対応に苦慮している。様々な 視点から検討を行っていく。	農林課



水源が枯れた消雪設備



現状を常に掌握し、丁寧な説明と早期実現を！

町民の声にど

毎年町には、各地区区長会からの要望が数多く寄せられます。
どのように応えているのでしょうか。
過去5年間の要望の中から多かったものをまとめました。

● 蚕桑地区 要望件数：24 件（H26～H30 年度）

要 望 項 目	要望年度	回 答	担当課
貯水池・防火水槽の 有蓋化 (蓋をかける事)	26 27 29 30	町内各地区から要望があり、水利の無い地区 や流水不足箇所などを優先して整備している。	総務課
飯豊・長井・蚕桑・ 鮎貝・荒砥橋間の地 域高規格道路の整備	30	現在、西廻り幹線道路整備に向け期成同盟会 も町全体の組織で活動している。今後、県や 長井市との調整を踏まえ方向性を検討する。	建設 水道課



有蓋化が待たれる

● 鮎貝地区 要望件数：38 件（H26～H30 年度）

要 望 項 目	要望年度	回 答	担当課
旧富士屋旅館前交差 点への信号機の設置	27 28	信号機の移設は現在のところ極めて困難 な状況だが事故防止対策の強化を関係機 関に働きかける。引き続き注意喚起の対 策に努める。	町民課
鮎貝駅前地内の 水害対策	28 29	駅裏圃場内の用排水路対策等も含め、鮎 貝区、白鷹町土地改良区、県、山形鉄道 など関係機関と連係・協議し、引き続き 検討していく。	建設 水道課



住民の手で積まれた土のう

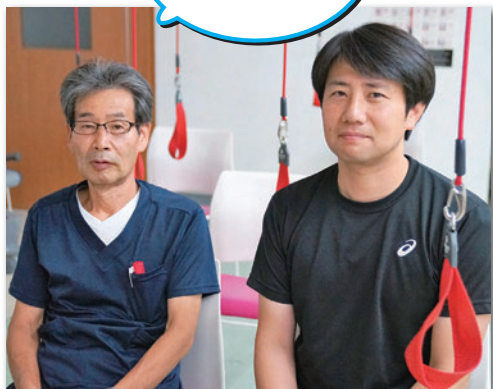
● 荒砥地区 要望件数：22 件（H26～H30 年度）

要 望 項 目	要望年度	回 答	担当課
町道坂下平田中山 線の路肩の土止め 工事	28 30	排水が集中的に集水する箇所であり、路 肩が洗掘されさらなる崩壊の危険がある ため、今後の維持工事で対応する。	建設 水道課



維持補修を迅速に

キーワードは
『動くこと』です。



須貝 弘夫 先生(左)
須貝 弘和 先生(右)

いきいき健康アドバイス

みんなを元気に!

… 全身を使った運動を …

今回は『須貝接骨院』と『リハビリデザイナー ビスすがい』の、須貝先生お二人に、お話をうかがいました。
親子で治療や運動指導にあたられています。

接骨院のお仕事とは
骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷などの損傷に対して、例えばズレた骨を元の位置に戻すとか、固定するなどしながら、人の持つ治療能力を最大限に発揮させる治療を行います。『柔道整復師』という国家資格が必要です。

介護予防のお仕事も

平 成18年から取り組んでいます。介護予防の講義を各公民館などで行っており、現在まで103回を数えます。24年からは町からの委託も受けて、来院による機能回復訓練をしながらの運動指導も行っています。

治療で特に多い症状は

昔 も今も、膝や腰の痛みで来られる方が多いです。

労働と運動は違います。同じ作業の繰り返しは、同じ筋肉しか使わないことや関節疲労などにより、障害が現れやすくなります。日頃から全身を使った運動を心がけましょう。常に姿勢を正して生活することも大事です。

子どもたちの様子は

最 近はスポーツで怪我をする子が増えています。

幼い頃から一つの競

技だけに励むと、体の

つくりには偏りが生じることもあるので、怪我をしやすくなるのかもかもしれません。なるべく多くのスポーツを経験することが望まれます。また、練習内容が過度になっていることも要因の一つではないでしょうか。

子どものスポーツで気を付けたいことは

子 どもは体に異変を感じても口に出不さないことが多いので、大人が早めに気づいてあげることが大切です。

子どもはすぐ治ると思われがちですが、そんなことはありません。保護者には練習を休ませる勇気も必要です。

元気を保つ秘訣は

体 を動かさなくなるのが老いの始まり。キーワードは『動くこと』、とにかく動くことです。

体力が衰えると動くのが億くうになり、さ

らに動けなくなります。家にこもると認知症にもなりがちです。

老いにより歩けなくなった足も、適切な治療と運動で改善しますので、年だからと、あきらめないでください。

町や議会に望むこと

人 口減少対策に徹底して取り組んでいただきたいです。空き家が目立ち、ひとが居なくなるのはとても寂しいものですね。

取材を終えて



動く人と動かない人では健康維持に大きな差が出るということです。介護予防運動に男性の参加が少ないことを、お二人の先生も心配しておられました。

(石川・佐々木)

編集後記



9月の定例会では、来年の予算を考えるために、去年のお金の使われ方を詳しく調べて確認します。

とくに去年は大雪だったために、除雪にかかったお金が当初の計画をはるかに超えてしまいました。

今年の夏は、例年になく水不足と、洪水や崖崩れが日本各地で起こりました。猛暑や大雨なども、被害が出れば人の生活を大きく狂わせてしまうとともに、お金の使い道をも大きく変えてしまいます。

自分も、いざという時のために、日頃からあまりムダ使いたくないように心掛けたいものです。

(佐々木)

広報委員

委員長 奥山 勝吉
副委員長・編集長 佐々木 誠司
委員 石川 重二
委員 笹原 俊一
委員 渡部 善美
印刷・(有)梅津印刷

発行責任者 白鷹町議会 議長 遠藤 幸一 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地 電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128

E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp HP <http://www.town.shirataka.lg.jp/gikai/>

